

講習の名称	【選択】日本史再考 関ヶ原合戦に注目して
講習の概要	本講義では、「日本史再考 関ヶ原合戦に注目して」と題し、天下分け目の戦いとされる関ヶ原合戦、とりわけ奥羽版であった慶長出羽合戦に注目する。慶長出羽合戦は、関ヶ原合戦の一環として1600年9月から1601年4月まで戦われた。戦いの主人公最上義光・伊達政宗と上杉景勝らに注目して、奥羽中・近世史を見直したい。慶長出羽合戦は、さほど注目されていないが、奥羽の歴史のみならず、日本全体史を再考するうえで極めて重要な戦いであった。
担当講師	松尾 剛次（非常勤講師）
講習開設日	令和3年8月6日（金）
時間数	8:50～16:10（6時間）
開催地	山形県山形市
会場・教室	小白川キャンパス C1b（人文社会科学部1）2階 201教室
対象職種	教諭
主な受講対象者	高等学校教諭（地理歴史）
受講予定人数	10人
受講者への連絡事項 （持ち物等）	教科書松尾剛次著『家康に天下を獲らせた男 最上義光』柏書房， 講習に際して、使用するので、購入して持参するのが望ましい。
評価基準	①全講義に出席していること ②テストで60点以上であること。
評価の観点	講義内容を理解し、説明できるか。
その他特記事項	